



SSHレターズ

長崎県立大村高等学校
～自ら気づき、考え、行動する～

1巻/35号 2021/5/31

祝 理科部日本一！！

3月に開催された第17回 日本物理学会Jr.セッション2021において、理科部2年（当時）の本村 かなさんの『**落ち葉に宇宙の神秘を見る**』が見事、**最優秀賞**（全国一）を受賞しました。

日本物理学会は自然科学系の学会としては日本でもっとも歴史のある学会で、そのジュニアセッションは中高生が物理をテーマとした研究成果を発表するものです。

語学部でも副部長として一生懸命活動し、忙しい毎日を送っている本村さんですが、現在、7月のわかやま総文と8月のSSH生徒研究発表会に向けて、最後の仕上げに取り掛かっています。全国の舞台で、聴く者を魅了する最高のプレゼンテーションをして欲しいと思います。



◆2学年・家政科：生物セミナー

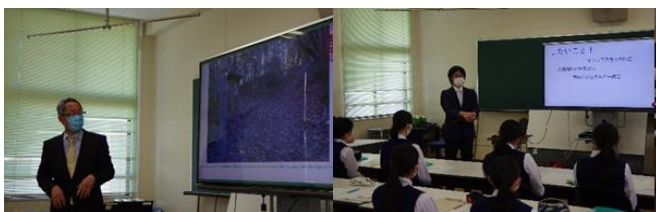
5月7日（金）、長崎女子短期大学より松尾 公則先生をお招きし、2年生家政科を対象とした生物セミナーを開催しました。講師の松尾先生は長年にわたる環境保全活動の普及・啓発への貢献により、環境大臣表彰を受賞されたこともある大変著名な方です。当日は、カエルを題材として、生物の多様性やその保全の大切さについての講義やヒキガエルの捕食行動の観察、実際の触れ合い体験など、盛りだくさんの内容で実施していただきました。

最初はカエルから逃げ回るようにしていた生徒たちも、最後の方にはかなりの数の生徒がカエルに触れることができるようになりました。今回の研修を通じ、生徒たちの生物や自然についての興味関心や多様性についての理解が深まりました。



◆2学年・普通科：地域探究講座 第1回 長崎街道インフラさるく in 大村

5月19日（水）、「第1回 長崎街道インフラさるく in 大村」を開催しました。これは本校と鎮西学院大学のコラボ事業で、地域にあるインフラを通して、自らを取り巻く社会や環境を知り、それらとのかかわり方を学ぶことを目的としたものです。第1回目の今回は、最初に長崎大学工学研究科の出水 享氏より「インフラの見方、守り方」について、続いて鎮西学院大学現代社会学部教授の礪本 光広氏より「AI・データサイエンス教育と課題探究」についての講義がありました。最後に鎮西学院大学基盤教育センター教授の吉野 浩司氏らのご指導のもと、①観光、②橋・道・建物、③歴史・文化、④環境・防災の4つの班を編制しました。各班がどのようにテーマ設定するのか、とても楽しみです。



◆2学年・普通科：課題発見セミナー

5月19日（水）、普通科の2年生を対象に『課題発見セミナー』を開催しました。課題探究のテーマ設定のヒントとなるような探究素材を、先生方から生徒へ伝える企画です。

アメリカ自然史博物館リサーチアソシエイトである安永 智秀先生もお迎えし、SS探究ⅡB担当教員と合わせた16名で探究素材についてのプレゼンを行いました。1回のプレゼン時間は7分で行い、生徒は其中で質問等を行いました。生徒は時間内に6つのプレゼンを聞き、テーマ設定のヒントとしました。これからの探究活動の活用してください。合言葉は、先輩を越えるです。

